

公益財団法人食生活研究会「平成28年度事業報告」

平成28年度事業は、平成28年3月3日開催第82回理事会で決議された研究助成、留学生支援及び講演会を行った。

1. 研究助成事業

1) 研究助成事業

研究者に対する研究助成13件（1,300万円）及び研究機関に対する研究補助1件（50万円）の合計14件（1,350万円）の助成を行った。その詳細は以下の通り。

・研究助成

	助成者名	機関名	研究テーマ
1	こたけ えいいち 小竹 英一	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所食品素材科学研究領域 主任研究員	糖脂質の脂溶性栄養・機能成分の吸収促進作用機序解明と応用
2	あさかわ あきひろ 浅川 明弘	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心身内科学分野 准教授	緑葉由来ペプチドによる罹癌・加齢の終末期の生活の質の向上を目指した新規治療法の開発
3	はっとり かずお 服部 一夫	東京農業大学応用生物科学部栄養科学科 教授	アディポネクチンをターゲットとした抗メタボリックシンドローム作用を有する食品の探索と解析
4	かさくら かずみ 笠倉 和巳	東京理科大学基礎工学部生物工学科ポストドクトラル研究員	腸内共生菌とその代謝産物によるマスト細胞の機能制御と食物アレルギー治療への応用
5	なかむら かずひろ 中村 和弘	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター水田作研究領域 小麦・大麦育種グループ長	製菓特性多様化を目的とした「通常アミロース含量」軟質小麦糊化特性の遺伝解析
6	あび こ 安孫子 ユミ	筑波大学・医学医療系 助教	食生活を介した健康リスクを軽減する植物由来活性イオウ含有低分子
7	しのざき ふみか 篠崎 文夏	公益財団法人神奈川科学技術アカデミー未病改善食品評価法開発プロジェクト 常勤研究員	未病モデルマウスを用いた生薬関連食材の生理機能性の検証と代謝制御機構の解明

8	のま せいじ 野間 誠司	佐賀大学農学部生命機能科学科 生物資源利用学分野 准教授	糖修飾によるパパインの加水分解挙動改変と食肉軟化への応用
9	ささき つとむ 佐々木 努	群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野 准教授	D-セリンによる食事嗜好性変容機序の解明
10	たはら こうへい 田原 耕平	岐阜薬科大学薬物送達学大講座 講師	消化管粘膜付着型リピッドナノ粒子による機能性食品成分の経口吸収性及び服用性改善
11	いわわき たかお 岩脇 隆夫	金沢医科大学生命科学研究領域 教授	細胞ストレス応答反応の解析から挑む「やけ食い」の分子メカニズム
12	ほかぞの しんご 外園 信吾	特定非営利活動法人有機農業推進協会 事務局長	日本における有機食品の流通・購入ルートの変容と今後の展望
13	ふじわら なつみ 藤原 なつみ	立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員	新たな食品表示制度下で求められる消費者コミュニケーションに関する研究

・その他研究補助

	助成者名	機関名	研究テーマ
1	たんげ たけし 丹下 健	東京大学大学院農学生命科学研究科 研究科長・教授	産学官民連携型農学研究・教育の国際化・実質化の推進

2) 海外留学生支援事業

今年度から支援対象者を1名増やし、ソパジットワッタナ・タンヤポンさん（東京海洋大学大学院海洋技術研究科博士前期課程2年在籍、国籍：タイ）、ファン・ホーさん（早稲田大学国際教養学部4年在籍、国籍：台湾）及びサシトーン・マーユーさん（上智大学言語教育研究センター在籍、国籍：タイ）の3名にそれぞれ100万円を支援した。

3名は、平成28年11月9日に群馬県館林市の日清製粉グループ「製粉ミュージアム」見学会、平成28年12月16日に日清製粉グループ本世上福岡研究所群（基礎研究所、生産技術研究所及びQEセンター）の見学、クッキー及び冷凍パスタの試作実習等、また、当財団主催第24回講演会、及び講演会後の懇親会に出席し、出席者と懇談を行い、我が国の食品産業、また日本の食生活等についての理解を深めた。

2. 講演会事業

第24回講演会は、平成28年10月4日、クラブ関東大ホールにおいて「食と健康」を主テーマに開催した。

第一部で、平成27年度に研究助成を行った中から竹野景海順天堂大学大学院代謝内分泌内科学・スポーツロジックセンター助教並びに村田幸久東京大学大学院農学生命科学研究科准教授がそれぞれ研究報告の発表を行い、第二部で、香西みどりお茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授が「調理操作による食品の科学～なぜそうなるの？～」、森谷敏夫京都大学名誉教授・㈱運動医科学研究所所長が「生活習慣病における運動と栄養の役割」について講演した。

参加人員は145名で、盛況の内に終了した。

以 上